

## ショー ヨリガン



## 私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.32

### 「平成最後のお正月」

今さらではありますが、お正月の過ごし方について書きたいと思います。父がわざわざ、アメリカから遊びにやってきました。おかげ様で、お正月はのんびりと過ごすことができました。北秋田の雪の量にびっくりしながら、確かに家に閉じこもっていることが多かったです！

しかし、日本・北秋田だからこそできることをいっぱい経験してもらおうと思い、きりたんぼ鍋やいぶりがっこを食べたり、紅白歌合戦の鑑賞をしたり、鷹巣神社へ初詣に出かけたりしました。森吉山の樹氷観賞にも連れて行きたかったのですが、私も父もカゼをひいてしまったので、結局やめました（唯一の心残りです！）。

今回の写真は、大館能代空港発の帰りの便に乗っている父と私の自撮りです。



ちなみに今回のタイトルは「平成最後の」ブームに乗るつもりでした。西暦しか扱っていないアメリカ出身の私は元号という感覚が鈍いかもしれませんが「ぎりぎり昭和」生まれの私は改元ということがとても新鮮で、進み方を興味深く見守っています。

平成 22 年

故郷へ錦を飾った夏巡業北秋田場所

平成 22 年

豪快な突き押しに市民から大きな歓声

平成 28 年

直筆の書で気持ちを表した夏巡業秋田場所

市民栄誉章の授与を伝え握手を交わす押尾川親方と津谷市長

# 北秋田市 ふるさと大使 押尾川親方(元関脇豪風) 現役引退を報告

市民からの  
温かい声援に感謝

大相撲1月場所で現役引退を表明した北秋田市ふるさと大使の押尾川親方（本名川成田旭）が、2月7日に市役所を訪れ、津谷市長に現役引退を報告しました。

本市出身の元関脇豪風は、金足農業高校から中央大学に進み、4年次には学生横綱に輝きました。平成14年に尾車部屋に入門し、同年5月場所に「成田」のしこ名で幕下15枚目格付け出場でデビュー。突き押しを武器に史上最速タイの初土俵から2場所ですごい昇進を果たしました。平成15年3月場所に新入幕し、20年には新小結に昇進。26年7月場所では横綱日馬富士を破り初金星を獲得。35歳1か月での初金星は昭和以降の新入幕力士では最年長記録となり、続く9月場所では戦後最年長35歳2か月で新関脇に昇進を果たしました。そのあとも、たゆまぬ鍛錬を続け、幕内在位86場所は歴代10位、幕内出場1257回は歴代8位で、ともに学生相撲出身では歴代1位と輝かしい足跡を残しています。

引退後は、年寄「押尾川」を襲名し、尾車部屋の部屋付き親方として後進の指導に当たっています。

この日、市役所を訪れた押尾川親方は、玄関で出迎えた津谷市長から花束を受け取り握手を交わしました。はじめに押尾川親方が「無事に現役を終えることができた。豪風としては終わったが、これからは年寄押尾川として頑張ります」と大相撲の現役引退を報告しました。

報告を受けた津谷市長は「これまでの功績をたたえ、市民栄誉章を差し上げたい。引き続き、北秋田市ふるさと大使として、本市のPRに協力してもらいたい」と今後の活躍に期待を寄せました。

このあと「豪風旭関を応援する会」の北林文正会長と黒澤芳彦副会長を交えて懇談し、市民栄誉章の授与に押尾川親方は「びっくりしているが、光栄でうれしく思う。ふるさと大使としても市民の期待に応えたい」と今後の活動に意欲を表明しました。

最後に、ふるさと北秋田から温かい声援を送り続けた市民の皆さんに対して「17年間という長い間、温かく時には熱い声援を送っていただきまして、本当にありがとうございます。これからは、親方として指導者の立場に変わりますが、相撲道に精進するという方向性は変わりませぬので、今後とも未永くお付き合いをお願いいたします」などと感謝の気持ちを表しました。

## きらっとヒカル 北秋田の企業 Vol.23

### エヌ・エム・ディー電子株式会社 秋田工場

#### 何をしている会社？

エレクトロニクス産業に重要な役割を担うトランス（変圧器）の製造を行っています。弊社のトランスは通信・民生機器からロボット・環境エネルギーに至る産業機器の分野まで幅広く使用されており、独自の技術力を高めると共に品質および生産性の向上を図り常に新たな挑戦を続けています。

#### 会社のアピールポイントは？

東京にある本社のほか海外製造拠点として中国の3都市とミャンマーに自社工場があり、グローバルな発想の経営に加え「良い仕組み」による「良い流れ」を作り続けることが、展望ある発展に繋がるものと考え日々新たな価値を創造していきます。



- 【会社概要】
- ◆所在地 七日市字中袋21
  - ◆主な事業 トランスの製造・販売
  - ◆従業員数 34人
  - ◆電話番号 0186-66-2004



製造の様子



完成した製品

#### 若手社員 の声



藤嶋 裕介さん(26)

入社2年目。品質管理部門で、製品の品質管理や化学物質の管理などの業務に携わっています。まだまだ知識不足で、職場の皆様フォローしていただいておりますが、日々一生懸命頑張っています。